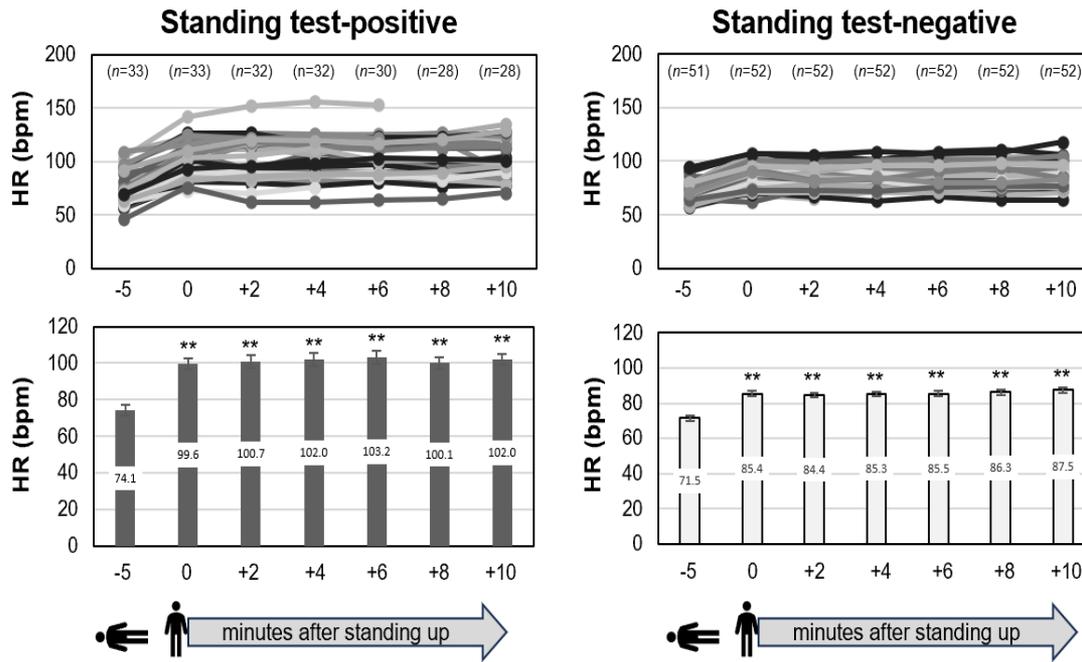


新型コロナ後遺症に見られる立ちくらみ症状とその特徴

2021年2月から2023年4月に当院コロナ・アフターケア外来を受診され、起立試験を行った86人を対象とした



- ✓ コロナ後遺症では、**起立性調節障害 (OI)** による立ちくらみ症状を伴いやすい。
- ✓ 起立試験 (Standing test) では、OI症状を伴う後遺症患者の**38% (33/86人)**が**陽性** (起立後の著明な頻脈や低血圧で陽性：図の左は、起立後の頻脈を認めたグループ) と判定された。
- ✓ 起立試験陽性の後遺症患者には、**20歳未満の若年者が48.5%**と多く含まれた。
- ✓ 起立試験陽性の後遺症患者には、**嘔気と頻脈の症状が多く、起立時の頻脈とともに、起立直後の拡張期血圧の上昇**が認められた。
- ✓ 起立試験陽性の若年の後遺症患者では、血中の**成長ホルモンが低い傾向**を認めた。

若年者のコロナ後遺症では、立ちくらみ症状を伴いやすく、起立試験において、心拍数の上昇や拡張期血圧の一過性の上昇を認める